



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

お念仏の救いに遇えて よかった



一月下旬、まさかの事態に襲われま
 した。散歩の帰り道、2m下の用水路に
 滑落して、レスキュー隊に救急搬送さ
 れて、全身麻酔の手術を受けました。
 転んだり大病になるのは他人事だと
 高をくくっていた愚か者でした。鎖骨、
 肋骨、肩甲骨を骨折していたのです。
 身動き一つもままならぬ身の真夜中、
 ナースコールで駆けつけて下さった看
 護師さんの手厚い助けを受け、支えら
 れている身を痛いほど知らされ、生か
 されている身の有難さを感じました。
 さされている身のお慈悲の中にあるわが身と
 知らされ、お念仏がこぼれました。

「高僧和讃」(源信讃)の中に、次のよ
 うな有難い「和讃」があります。
 「煩惱に眼(まなこ)遮(さ)へられて
 撰取の光明みざれども 大悲ものうき
 ことなくてつねにわが身をてらすなり」
 意識しますと「私たち凡夫は、阿弥
 陀如来の撰取の光明は見えないが、み
 仏様の大きなお慈悲は倦くことなく、
 常に私を照らして下さる」という内容
 です。

この私も全身麻酔の手術の夜、あえ
 ぎあえぎお念仏申す中、大慈大悲のみ

仏さまがこんな我をもお見捨てされる
 ことなく、救い取って常にお前と一緒に
 だよと、励まし続けて下さる身なのだ
 と思いつつ、辛い一夜を乗り越えるこ
 とができました。

お念仏の救いに遇うことができてよ
 かったと改めて思いました。

退院後、お見舞いに来られる人達も、
 異口同音に「大怪我にも拘わらずこん
 なに早く元気回復して、み仏さまのお
 蔭ですね」と喜んでくださいました。

まだまだ長いリハビリ生活が続いま
 すが、お念仏もろともに乗り越えて参
 ります。南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏



1/21大怪我、1/29手術
 2/1退院、その後通院、
 一日置きに、リハビリに通院
 お蔭で回復途上です。



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

☆行事ご案内☆

◇歌と踊りの集い 誰でも参加OK、無料

3月26日(木)午後1時

シンガーソングライターと創作舞踊、他



◇初参式・降誕会 4月18日(土)1時

締切3月末、赤ちゃん・子供大募集、参加費千円

法話:加藤幸子先生、主催:三全仏教婦人会

4月の門信徒会例会 4月19日(日)午前8時半

新旧行事さんお集まり下さい。新役員を決めます

一線会テレホン法話TEL059・354・1454三重組

5か寺が3分法話、21冊目の法話本完成、結成42年目

善正寺ホームページ&『住職と坊守のつれづれ日記』

ブログ開設18年総訪問者数50万人達成一日百人以上

新納骨堂:後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を

法事場所でお困りの方:本堂使用可、日時をご相談下さい

写真アラカルト



2月の門信徒会例会に住職は杖を突き出席

この日若院は葬儀で欠礼。住職が怪我を報告

2/22門信徒会例会で
 住職が大怪我の報告。
 3月号寺報も無事発行



本堂で勤められた若院導師の年回法要に

住職も外陣より唱和。参詣者は驚かれた

3/1本堂での年忌法要に
 住職も臨席、若院が導師を勤め、
 若院の法話に耳を傾ける。



坊守スケッチ

病院で現代の『四門出遊』を見た

この度の住職の大怪我で、度々市立病院へ通院することになりました。自分のお産以来、病院とは縁が無かったので驚きました。大勢の病人さんや付き添いさんで溢れかえっています。

「世間にはこんなに沢山の病人さんがいるのか？それも高齢者が多い」と感じました。私も高齢者の一人ですが、これまで入院するような大病を患ったことがありませんでした。事故から一週間後、突如「明日手術、4泊5日で退院。それ以後はリハビリ通院。手術終了後に電話します」と、先生から告げられました。

しかし手術終了の予定時刻が過ぎても電話が無くて(もしかして手術の失敗では？まさかの時を覚悟しなければ)と眠られませんでした。翌日先生から忙しすぎて電話を忘れていたそうです。その後リハビリ通院が一日置きに続きました。自宅療養の方が、本人の刺激になり、回復も早いようです。市立病院の混雑状況を見て、「まるで現代の『四門出遊』」と思いました。四門出遊とは、お釈迦様が太子の頃、

老いや病や死を超えた本当の幸せとは？

四門出遊



初めて城から東門を出ると、ヨボヨボの老人に出会いました。また南門を出ると病人に出会いました。西門では葬式の行列に出会いました。北門を出ると、出家した僧侶に出会いました。

お釈迦様は「人間は限りある命を自分の欲を満たす為に生きるのではなく、老いや病や死を超える為に、普遍的な真理を求めて生きるのではないか」と悟られ、出家の旅に出られました。それがそもそもの仏教の始まりです。

今回の住職の大怪我によって、今まで私が気づけなかった大切なことを、気付かせて頂いたと感謝しています。



お悔やみ申し上げます

★服部かずる様(93)2月19日往生

お知らせ

※春季永代経は3/14(土)午後、一日だけです。お間違いの無いように！
※3/26(木)1時「歌と踊りの集い」誰でもご自由に参加下さい。無料
※4/18(土)1時「初参式」赤ちゃん・子供大募集、費用千円、記念にごつぞ

若坊守のこつこつ日記No.135

三月になり、卒業シーズンに突入しました。私が一番鮮明に覚えているのは小学校の卒業式です。六年間の思い出や感謝を伝える、いわゆる「呼びかけ」で、「ピカピカの体育館での入学式」と大きな声で言ったことを覚えています。丁度入学の年に新体育館が落成し、子ども心にワクワクしていました。

昨年秋頃に聞いた話では、長女が通う小学校の校舎を令和十年から建て替えるそうです。市内では歴史の浅い方の小学校ですが、一昨年創立五十年を迎えようやくその順番が回ってきたのでしょうか。

まだ空調設備が整っていない特別教室や、古いトイレは現代の環境には沿わないことでしょう。屋外のプールも暑すぎる夏には使えず、民間のプールを利用するそうです。

私たちが思い浮かべる「小学校」という空間は時代とともに変化していますが、集団登校や給食や掃除など、日本の良さが感じられる習慣は残ってほしいと思います。

卒業生の皆さん、新しい一歩に自信を持って踏み出して下さい。



俳壇 & 柳壇

侘助や優しいピンク裏庭に 釋妙水

紅梅や吾子の笑顔に頼よせし 灌流の涙の嵐スケート金

流水や難儀なことも忘れゆく 釋楽邦

青空を共に彩る梅さくら 瀧音に囁り交じる登り道 釋妙梅

麻雀す恩師百歳春うらら 紋白蝶キャベツ畑で結婚式 離げしやてんでんとりどり首もたげ 釋妙鈴

節分や狐の嫁入り尻尾振り 薄紅に嶺線染めし浅き春 令和の子平安の雛と何話す 釋香誼

昔日の雛を囲んで三世代 菜の花に集うみつばち春の舞 春麗ぼつぷこーんの咀嚼音 釋秀龍

坂道の知らないバス停へ風花 まづスウプ掬う春夜の町中華 春日さす川面に水鳥遊び来る 釋清風

春風や歩行訓練一歩づつ WBC聞きつりハビリ春夜かな

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

☆編集子より☆

(い藤をか志)

「善正寺だより」388号をお届けします。◇大怪我から四十日余り、リハビリに励みつつ、今号の法話、編集も何とかできるまでになりました。皆さんのご声援に励まされる次第有難うございます。◇中東情勢が緊迫、戦乱拡大が懸念される。◇平和を願いつつ、ただお念仏申すばかりです。合掌。

一月二十日散歩中に二川下の用水路に住職が滑り落ちて大怪我を
してから早二ヶ月近く経ちました。当初は我が家の非常事態
と思ひ私と若院夫婦で難局を乗り越えようと思ひ悟しま
した。しかし入院期間は四泊五日と超最短で、その後は一日
置きに市立病院へリハビリ通院と家庭内リハビリを繰
り返しています。おかげさまで少しずつ回復しています。が以
前の仕事に復帰するには、今しばらくご容赦下さいませ。
自宅では左手でパソコンを操作してブログや寺報の編集
にも挑戦。若院に寺報の印刷を頼み三月号を無事発
行。続いて四月号の発行にも取り掛かりました。連日の訪問客
や門徒さんとの会話に元気を頂き笑顔が戻りました。長く
入院するよりは、自宅療養の方が本人には好都合でした。
三月はお寺の行事もあり門徒さん宅への出勤はまだ無理
ですが、その間若院がお参りさせて頂きます。四月か五月に
は外出できるように願っています。二月に予定していた大学病
院の眼の手術も延期しました。今しばらくご不便をおかけし
ますがご容赦下さいませ。そんな訳で、春季永代経は三月
十四日(土)の一日だけお勤めします。また三月二十六日(木)午後
の歌と踊りの集いは以前からお約束していたので開催
します。どなたでもご自由にご参加下さい。また四月六
日(土)午後の三全仏婦主催の「初参式」の赤ちゃん子供
を大募集しています。この度の大怪我を今後の人生の
教訓にして、より一層精進させて頂く所存です。ご協力
よろしくお願ひ申し上げます。

合掌

令和八年四月

善正寺坊守 拜